

令和8年8月21日
第2回グリーンサーキュラー部会

北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度

令和8年度の募集について

北九州市環境局環境監視部産業廃棄物対策課
産業廃棄物対策係長

村田 康輔

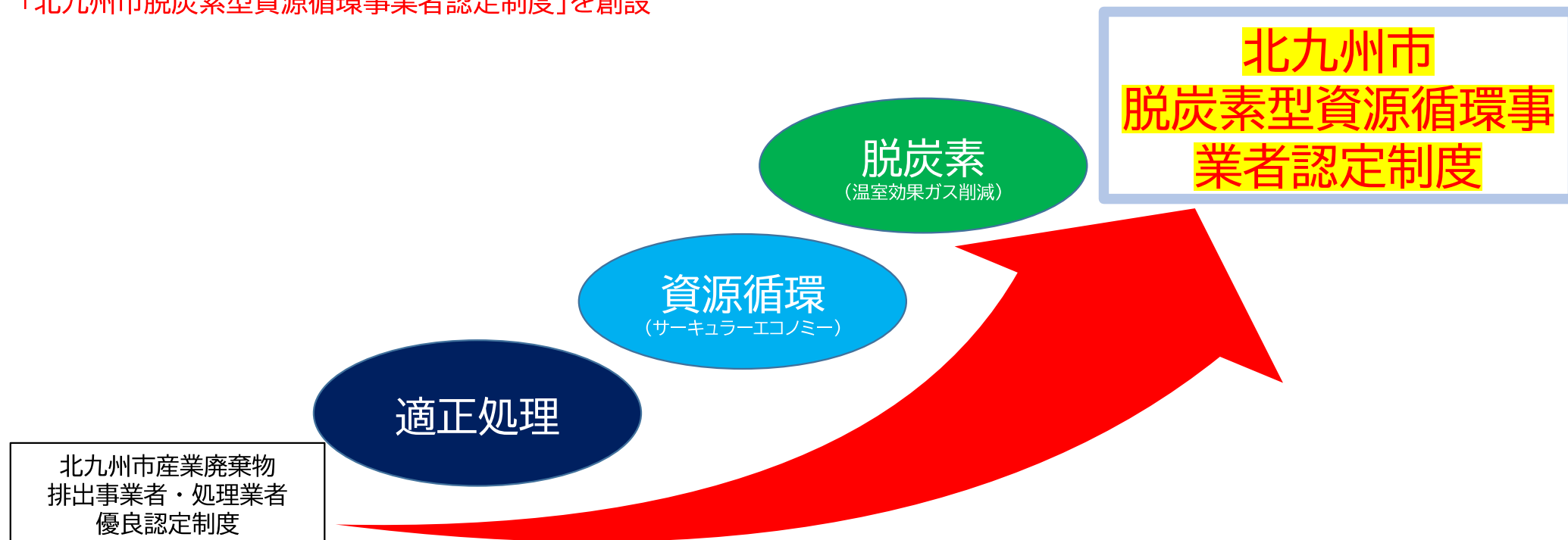


北九州市脱炭素型資源循事業者認定制度の創設

北九州市脱炭素型資源循事業者認定制度の創設

前回資料

- 市内の廃棄物処理業界においても、従来の「適正処理」に加え、「脱炭素」と「資源循環」を両立する取組のさらなる強化が求められる。
- そこで、**現行の優良認定制度を刷新**し、脱炭素資源循環及びサステナビリティ工場に積極的に取り組む事業者を評価・認定する「**北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度**」を創設



事業モデルの変革により、取引先等から選ばれる
「資源循環のプロフェッショナル」へ

企業成長の加速

資源循環における新しい技術開発やビジネスモデルの導入は新たな収益創出をもたらし、**企業の成長を加速**させます。

サプライチェーンにおける優位性

サプライチェーン全体で脱炭素化・資源循環への意識が高まる中、他社との差別化が図られ、**取引先に選ばれる企業**となります。

企業価値の向上

環境に配慮した企業としての評価が高まれば、取引先や市民からの信頼を獲得することができます。また、雇用においても、特に若い世代は企業の環境や社会貢献への取組に対する意識が高いため、**優秀な人材の獲得**につながります。

認定事業者のご紹介 (R8.4.1時点)

【排出事業者】7社

	グレード	星の数	事業者名
1	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★★	株式会社志道工務店
2	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★★	シャボン玉石けん株式会社
3	サーキュラーキーパー	★★	日本ヒューム株式会社 九州工場
4	サーキュラーキーパー	★	株式会社ブリヂストン 北九州工場
5	サーキュラーキーパー	★	株式会社三井ハイテック
6	サーキュラーキーパー	★	TOTOサニテクノ株式会社 小倉工場
7	サーキュラーキーパー	★	古河電工メタルケーブル株式会社 九州工場

認定事業者【処分業者】

前回資料

【処分業者】26社

	グレード	星の数	事業者名
1	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	ジャパンウェイスト株式会社
2	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社西日本ガラスリサイクルセンター
3	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社西原商事
4	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社野原商会
5	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社ビートルエンジニアリング
6	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★	株式会社イマナガ
7	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★	株式会社クリーンセンター
8	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★	光和精鉱株式会社
9	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★	株式会社産興エコサービス
10	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	梅崎礦業株式会社
11	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	九州メタル産業株式会社
12	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	株式会社サニックス資源開発グループ
13	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	ホクザイ運輸株式会社
14	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	ヤクシン開発株式会社

認定事業者【処分業者】

前回資料

15	サーキュラーキーパー	★	株式会社NRS
16	サーキュラーキーパー	★	有限会社角田油業
17	サーキュラーキーパー	★	株式会社ツネミ
18	サーキュラーキーパー	★	株式会社小玉商店
19	サーキュラーキーパー	★	三共建設株式会社
20	サーキュラーキーパー	★	喜楽鋳業株式会社
21	サーキュラーキーパー	★	九州製紙株式会社
22	サーキュラーキーパー	★	株式会社ジェイ・リライツ
23	サーキュラーキーパー	★	西日本家電リサイクル株式会社
24	サーキュラーキーパー	★	九州リファイン株式会社
25	サーキュラーキーパー	★	株式会社ダイセキ
26	サーキュラーキーパー	★	株式会社リサイクルテック

認定事業者【収集運搬業者】

前回資料

【収集運搬業者】11社

	グレード	星の数	事業者名
1	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社イマナガ
2	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社志道工務店
3	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	ジャパンウェイト株式会社
4	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社西原商事
5	グリーンサーキュラーフロンティア	★★★★	株式会社野原商会
6	グリーンサーキュラーナビゲーター	★★★	株式会社産興エコサービス
7	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	梅崎礦業株式会社
8	グリーンサーキュラーチャレンジャー	★★	九州メタル産業株式会社
9	サーキュラーキーパー	★	株式会社NRS
10	サーキュラーキーパー	★	有限会社恵上商店
11	サーキュラーキーパー	★	有限会社角田油業

令和8年度の募集について

9月中旬～11月中旬(予定)
【約2か月間】

お願い事項

認定取得をお考えの
みなさま



申請のご検討を
お願いします

既に認定をお持ちの
みなさま



グレードアップの
チャレンジを
お願いします

認定の有効期間

○新規認定・更新認定

認定期間は認定日から起算して5年を経過する日の属する年度の末日まで

○認定期間中のグレードアップ認定

従前の認定期間は失効し、認定日から起算して5年を経過する日の属する年度の末日までに更新される。ただし、グレードに変更がなければ、従前の認定期間に変更は生じない。

旧制度の優良認定事業者への特例

- ・無審査でサーキュラーキーパー（★）認定【申請不要】
- ・認定の有効期間は現行制度の有効期限日まで

国優良産廃処理業者への特例

- ・無審査でサーキュラーキーパー（★）認定【申請必要】
- ・認定の有効期間は認定日から起算して5年を経過する日の属する年度の末日まで

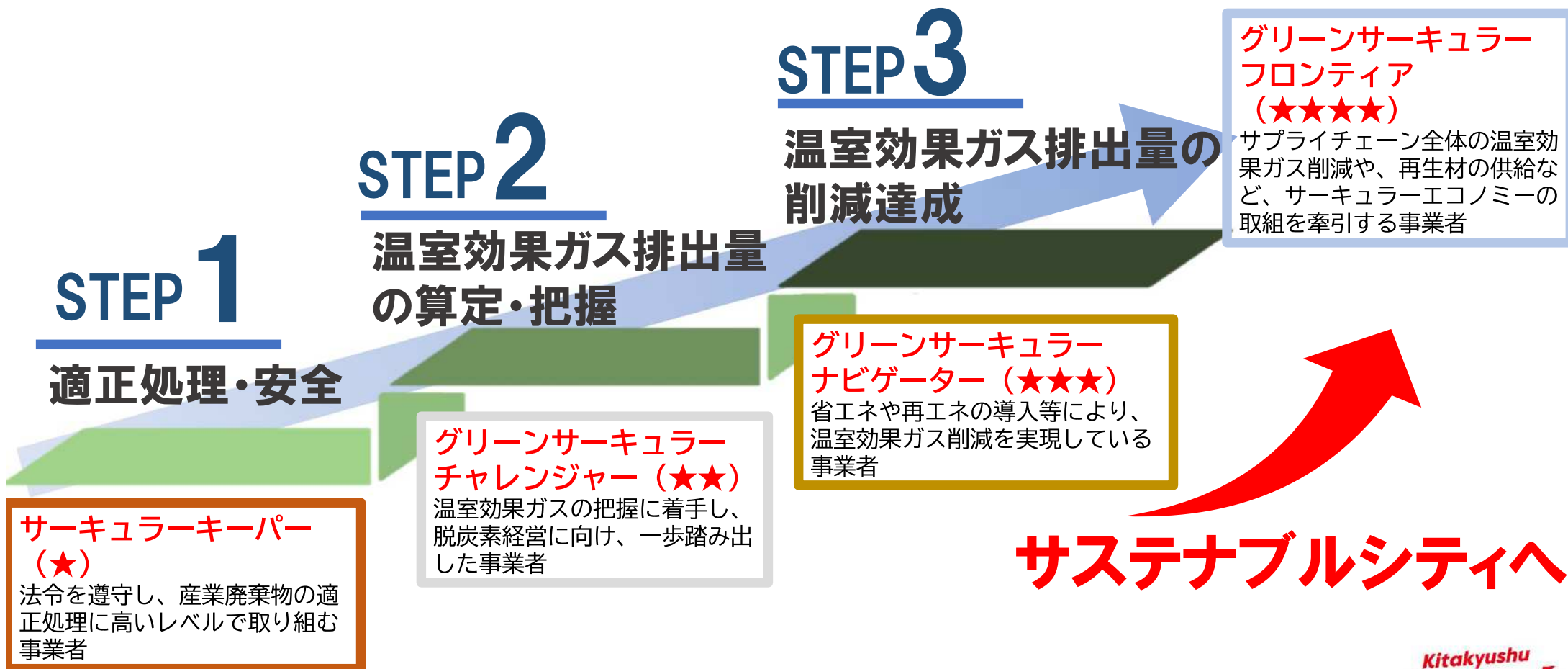
- 認定証の交付
- 許可証への記載（処理業者・収集運搬業者）
- 認定ロゴマークを活用した企業P R
- 市が実施するセミナー・講習会等における取組紹介
- 市ホームページでの周知
- 市の各種支援制度に関する配慮

認定基準について

新認定制度のグレード設定とその考え方

前回資料

- 適正処理の確保、温室効果ガス排出量の把握、削減などの各段階ごとにグレードを設定。



評価基準分類

各評価項目を4つの基準に分類

- ① 産業廃棄物の適正処理
- ② 自社の脱炭素化に向けた取組
- ③ 産業廃棄物の脱炭素型資源循環に向けた取組
- ④ サステナビリティ向上への総合的な取組

評価基準分類別の評価項目数

※（ ）は加点項目の内数

評価基準分類	排出事業者	処分業者	収集運搬業者
①産業廃棄物の適正処理	7項目	7項目	6項目
②自社の脱炭素化に向けた取組	9項目（2項目）	9項目（2項目）	10項目（2項目）
③産業廃棄物の脱炭素型資源循環に向けた取組	9項目	10項目	4項目
④サステナビリティ向上への総合的な取組	8項目（2項目）	8項目（2項目）	8項目（2項目）
計	33項目（4項目）	34項目（4項目）	28項目（4項目）

認定基準(全グレード共通)

前回資料

➤ 「産業廃棄物の適正処理」では、全グレードで全ての評価項目を満たす必要がある。

評価基準分類	評価項目	排出	処分	収運	必須・選択・加点項目	点数
①産業廃棄物の適正処理	遵法性、健全な事業運営	○	○	○	すべてのグレードで 必須項目	—
	電子マニフェストの使用	○	○	○		
	財務体質の健全性	○	○	○		
	事業場内の清掃・清潔維持	○	○	○		
	労働安全衛生への配慮	○	○	○		
	事業の透明性(情報公開)	○	○	○		
	産業廃棄物のリサイクル率の把握	○	○	—		

認定基準(自社の脱炭素化)

- 「自社の脱炭素化」では、省エネや再生可能エネルギーの導入などの項目を設定
- グリーンサーキュラーチャレンジャー(★★)以上取得には、GHG把握が必須
- グリーンサーキュラーナビゲーター(★★★)以上取得にはGHG削減実績が必須

評価基準分類	評価項目	排出	処分	収運	必須・選択・加点項目	点数
②自社の脱炭素化	温室効果ガス排出量の把握 (※)	○	○	○	選択項目 (※) はグレードによって必須項目	各1点
	温室効果ガス削減目標と実績 (※)	○	○	○		
	省エネ設備の導入	○	○	○		
	脱炭素電力への切り替え	○	○	○		
	太陽光発電設備の導入	○	○	○		
	温室効果ガス排出量削減に配慮した車両導入	○	○	○		
	運搬車両の運用や運搬ルート効率化による温室効果ガス排出量の削減	—	—	○		
	燃料のカーボンニュートラル化に向けた取組	○	○	○		
	北九州市脱炭素電力認定制度の認定事業者	○	○	○	加点項目	2点
	SBT認証取得	○	○	○		3点

認定基準(産業廃棄物の脱炭素型資源循環)

前回資料

- 「産業廃棄物の脱炭素型資源循環」では、リサイクルへの転換や再生材の利用などの項目を設定
- グリーンサーキュラーナビゲーター(★★★)以上取得には産業廃棄物の脱炭素型資源循環の優れた取組と実績が必須【排出・処分】
- グリーンサーキュラーフロンティア(★★★★)脱炭素型資源循環に向けた先進的かつ革新的な取組が必須【排出・処分】

評価基準分類	評価項目	排出	処分	収運	必須・選択・加点項目	点数
③産業廃棄物の脱炭素型資源循環	産業廃棄物の脱炭素型資源循環の優れた取組と実績 (※)	○	○	—	選択項目 (※) はグレードによって必須項目	各1点
	国や市の認定業者への委託	○	—	—		
	排出事業者との協議、コミュニケーション	—	○	—		
	再生材利用等に向けた技術開発や実証事業などへの取組	○	○	—		
	焼却や埋立からリサイクルへ転換促進するための技術開発、施設導入計画	—	○	—		
	セミナー等への参加	○	○	○		
	福岡県産業資源循環協会への加入	○	○	○		
	ホームページでの自社取組のPR	○	○	○		
	イベントでの自社取組のPR	○	○	○		
	焼却・埋立からリサイクルへの転換実現	○	○	—		
	脱炭素型資源循環に向けた先進的かつ革新的な取組 (※)	○	○	—		

認定基準(サステナビリティ向上)

前回資料

- 「サステナビリティ向上」の項目では、国や市の制度や地域貢献等の項目を設定
- 総合的な取組により、地域やネイチャーポジティブなど幅広い分野に貢献

評価基準分類	評価項目	排出	処分	収運	必須・選択・加点項目	点数
④サステナビリティ向上	ISO14001・エコアクション21などの認証取得	○	○	○	選択項目	各1点
	法定外の環境調査	○	○	○		
	専門知識を持つ従業員の雇用	○	○	○		
	環境保全に関する地域貢献活動	○	○	○		
	北九州ネイチャーポジティブネットワークへの参画	○	○	○		
	多様な人材の確保・活用	○	○	○		
	北九州SDGs登録制度の登録事業者	○	○	○	加点項目	2点
	北九州市サステナブル経営認証制度の認証事業者	○	○	○		3点

認定基準の手引き

- 市HPにおいて公開
- 各評価項目に対し、適合基準や確認方法(添付書類)、項目設定にあたっての考え方などを説明

実施要綱、認定基準の手引き、Q&A

[北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度実施要綱\(令和7年10月1日施行\)\(PDF形式:646KB\)](#)

[北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度に係る認定基準の手引き\(10月27日修正版\)\(PDF形式:1,658KB\)](#)

[北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度に係るQ&A\(PDF形式:441KB\)](#)



取組の具体例や用意する書類のご確認などに活用ください

認 定 証

北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度
グリーンサーキュラーフロンティア認定(処分業者)



貴社は、廃棄物の適正処理に加え、脱炭素化と資源循環に積極的に取り組み、その優れた実績は、世界をリードする「サステナブルシティ北九州」の実現に大きく貢献していると認められました。
よって北九州市脱炭素型資源循環事業者認定制度のグリーンサーキュラーフロンティア事業者として認定します。

有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

令和 年 月 日 北九州市長 武内和久

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市